

<p>学校名</p>	<p>安芸府中高等学校</p>
<p>所在地</p>	<p>広島県安芸郡府中町山田5丁目1-1</p>
<p>HP</p>	<p>https://www.akifuchu-h.hiroshima-c.ed.jp/</p>
<p>令和7年度 交流内容</p>	<p>【受入】 香港シンタックカレッジ来校（令和7年4月22日） 日本赤十字社主催の香港からの訪問団約30名に対し、校内で授業参加、校内回遊、ランチ会を行った。</p>    <p>メリノール高校（ハワイ）姉妹校生徒受け入れ（令和7年6月9日～6月23日：15日間） 姉妹校であるメリノール高校の生徒4名が来校。3月に本校からハワイを訪ねた生徒とお互いがホームステイする形で2週間滞在した。普通科・国際科のクラスに配属し、授業、府中町内の小中学校や平和公園などの校外学習、部活動、文化祭に参加した。</p>    <p>第56回『広島日韓青少年交流事業2025』日韓交流会（令和7年7月24日） 広島青少年文化センター主催の日韓交流プログラムで韓国の高校生が来校。総勢55名が国際ホールでゲームやダンスなどを通じて交流した。</p>   

【留学】

セブ研修旅行（令和7年7月13日～7月27日：16日間）

1学年の希望生徒6名がフィリピンのセブ島を訪れ、語学研修、ボランティア活動などのフィールドワークを行った。



オーストラリア研修旅行（令和7年8月17日～8月26日：10日間）

国際科2年生の生徒37名がオーストラリアへ約2週間現地家庭にホームステイする研修旅行に参加した。



【異文化体験・交流行事】

平和紙芝居（令和7年8月6日）

佐々木禎子さんの生涯を描いた紙芝居を8月6日に平和公園で日本語と英語両方で披露。府中中学校、府中緑ヶ丘中学校の生徒と合同でグループを組み、事前に合同練習を行い、当日平和の子の像周辺で33名の生徒が紙芝居を上映した。また、三重県から招待を受け「戦後80年特別企画 戦争の惨禍と平和の継承」に3年生3名が参加した。



サマーセミナー（令和7年8月20日～22日）

国際科1年生の生徒が他校のALTとともにグループを組み、校内や平和公園などの校外で平和探究プロジェクトと英語学習を実施した。



外国人との共生に係る啓発月間に合わせた出前講座（令和7年10月17日）

国際科1～3年生が広島出入国在留管理局より職員を講師に招き、業務内容、共生社会の実現に向けた取組及びやさしい日本語についての出前講座を受講した。



JICA 研修員学校訪問（令和7年12月15日）

広島大学大学院在学の海外からの研修員と授業交流や体育館で全校生徒に対し国や地域の紹介、伝統芸能のダンスを通じて交流した。



【オンライン交流】

授業での交流

アメリカのハバフォード大学の学生、フィリピンにあるイマキュレート・コンセプトスクール・バリウアッグ及びインドネシアにあるラモンガン地区の公立中学校・高校とのウェブ交流会を年間15回開催（各回とも授業時間を利用し50分間の交流を行っている。）

1学年（合計6回）

姉妹校生徒に対して英語紙芝居「原爆の子 さだ子の願い」を上演したほか、好きな音楽や住んでいる場所についてのプレゼンテーションを行ったり、広島を訪れた際のフィールドワークの内容について話し合ったりした。

2 学年（合計 10 回）

姉妹校生徒とチームを作り、SDGs の中から興味のあるテーマを設定してその背景分析や解決策を議論してプレゼンテーション形式でまとめた。また好きな音楽や芸術についてまとめてそれぞれの学校の生徒がプレゼンテーション形式で発表した。



今後の
交流予定

令和 8 年度

【留学（又は訪問）】

オーストラリア研修旅行（令和 8 年 8 月 17 日～8 月 26 日：10 日間）

国際科生徒 37 名がオーストラリアでホームステイを行う。

セブ島研修（令和 8 年 7 月 21 日～8 月 1 日：12 日間）

国際科及び普通科の希望生徒がフィリピンのセブ島を訪問。現地での語学研修やフィールドワークに参加する。

【受入れ】

日韓青少年交流事業（令和 8 年 7 月 23 日：1 日間）

広島青少年文化センター主催の「広島日韓青少年交流」のプログラムのひとつとして、本校において韓国からの生徒を招き、国際科及び普通科の希望生徒の企画するアクティビティを共同で行う。

【オンライン交流】

授業での交流

アメリカのハバフォード大学の学生、インドネシアのマンドラサ・アリア・ネジェリ高等学校及びフィリピンのイマキュレート・コンセプションスクール・バリウアッグの生徒、オーストラリアのペドポールディングカレッジの生徒とオンライン交流を合計 14 回実施予定。